

建設工事における環境配慮行動の推進

活動地域  三重県

ひろげる助成

3年目

実践

大台町で配慮すべき
動植物の把握

326種

活動参加者の
意識向上、満足度

100%

今年度計画の達成度

80%

目標達成度

70%



専門家2人を講師に招いた講演会の実施

課題

ダムや堰堤、河川のコンクリート化等の建設工事により、地域の自然や風土で培われてきた文化や暮らし等の生物多様性の恩恵からなる地域財産が衰退または消失している。

目標

大台町独自の保全管理指針を設け、町内の生物多様性と文化を総合的に保全する。公共工事でも壊されない、むしろ公共工事で回復が図られる、より新しい形の保全を目指す。

活動内容と成果

実地調査と文献調査を行い、話し合いの基礎となる町内自然情報の収集、リスト化及び公表に取り組み、それをもとに町との話し合いを進めた。また、ユネスコエコパークの一つの柱である地域資源の持続的な利活用という観点から、漁協とともにアマゴの親魚放流による自然繁殖量の調査も実施した。

自然情報の総合的な把握と見える化 (GIS)、記録と公表の仕方についての内部研修も行い、理想像の明文化を進める素地を固めた。

自然と工事との共生についての講演会も実施し、環境配慮を行う機運の醸成に大きな一歩を踏み出すことができた。



アマゴの親魚放流による自然繁殖量の調査

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

職場体制の不足、関係者間の認識のずれにより話し合いが難航した。加えて、新型コロナウイルス禍で講演会の延期と申込取消しが発生し、町民向け自然体験等も中止を余儀なくされた。

■ 工夫した点

住民と専門家の協力を得て、話し合いの元となる町内自然情報の収集及び整理、公表に取り組んだ。専門家と行政、住民から広く意見の聞き取りを行い、認識の共有に努めた。



地球環境基金関係者と専門家を招いた研修

全助成期間の活動を振り返って

この助成を受けることで、先進地の視察、事例収集、研修、調査を通し、事務所内だけでは得られない、多くの知見に触れ、見識を広められた。また、地域の方、行政関係者、専門家等、多くの関係者に話を伺い、他者と自分の想いに向き合うことができた。

来年度の予算組みや協議会の立ち上げ、本事業担当者が町のユネスコエコパーク推進委員になる話もあり、大台町として環境配慮に取り組んでいく機運を醸成できた。

〒519-2633
三重県多気郡大台町久豆199
電話：0598-78-8888
E-mail：info@osugidani.jp
HP：https://osugidani.jp/

今後の
展望

来年度も環境省の予算を申請し、引き続き事業を行う予定である。現状の町内自然環境把握のために住民と専門家を巻き込んだ広域的な調査を行い、それにより現状の生物の分布状況、過去の記録と比較し推移の把握を目指す。調査結果をもとに大台町版RDBを作成し、それに則った独自の保全管理指針の作成と運用を目指す。この取組みをふるさと納税の使途項目に追加し、資金調達を行い持続化し、環境保全のモデルにする。